

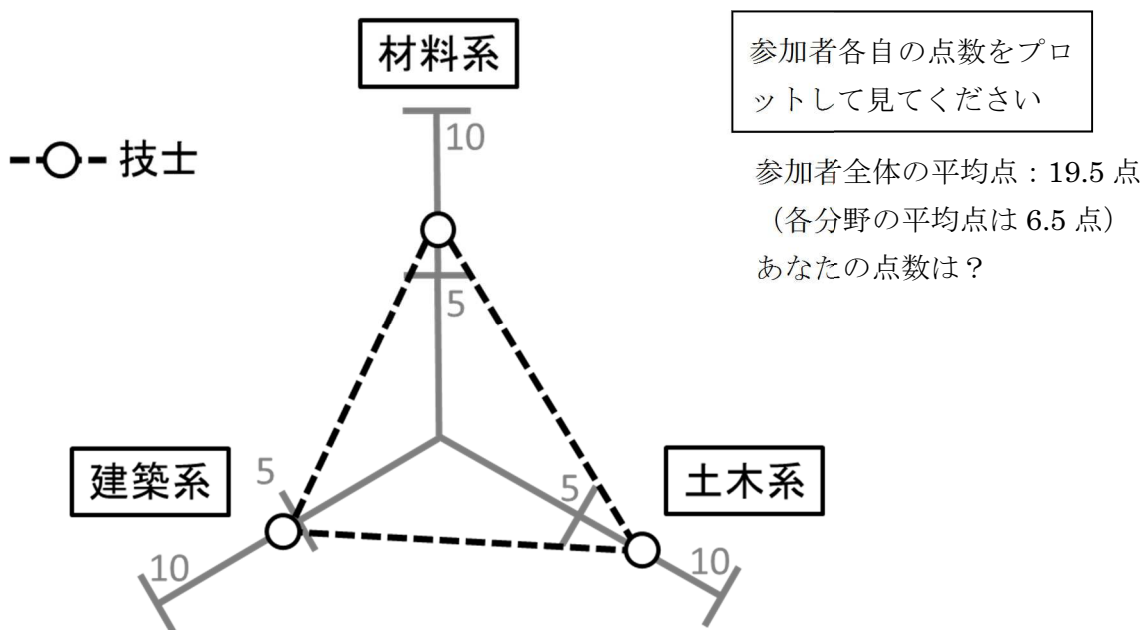
2016 年度コンクリート技士・主任技士研修 専門知識自己診断テストの結果について

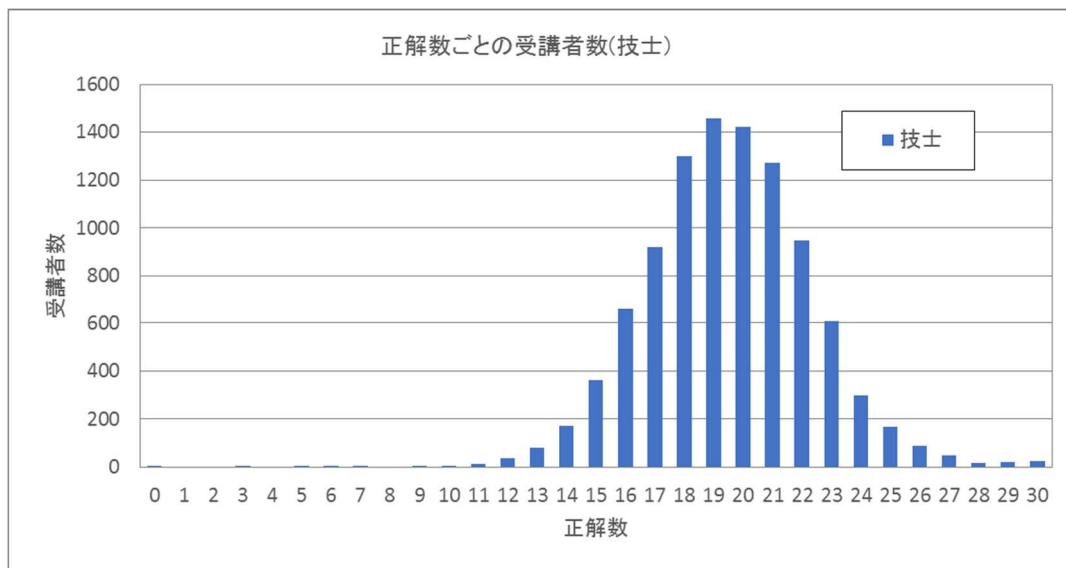
2016 年度のコンクリート技士・主任技士研修では、受講者全員に、「専門知識自己診断テスト」に挑戦して頂きました。

本テストは、名称からも推察できるように、コンクリートに関する各自の専門知識レベルが現在どの程度にあるのか(技士・主任技士資格取得当時のレベルを維持しているか、あるいは向上しているか、逆に低下しているか)を把握して頂くことを目的としています。その背景には、コンクリート分野への社会からの信頼がコンクリート技士・主任技士の日ごろの業務に依存していることがあります。試験の結果については、レベルの差を考慮して、コンクリート技士と主任技士を分けて分析することになりました。

(1)コンクリート技士

受講者全体(9930 名)での平均点は 19.5 点(30 点満点)、標準偏差は 2.85 でした。また、出題された問題群を、(1)材料系(研修時のテスト問題 1~10)、(2)建築系(テスト問題 11~20)、(3)土木系(テスト問題 21~30)の 3 分野に分類すると、各分野の平均点(10 点満点)は、それぞれ 6.6 点、5.5 点、7.3 点 でした。職種により得手不得手はあると考えられますが、研修に参加された方々には、各分野の得点(正解数)を下のチャートにプロットし、ご自身の現在のレベルを把握して頂き、更なる知識の習得を目指すための参考にして頂ければ幸いです。

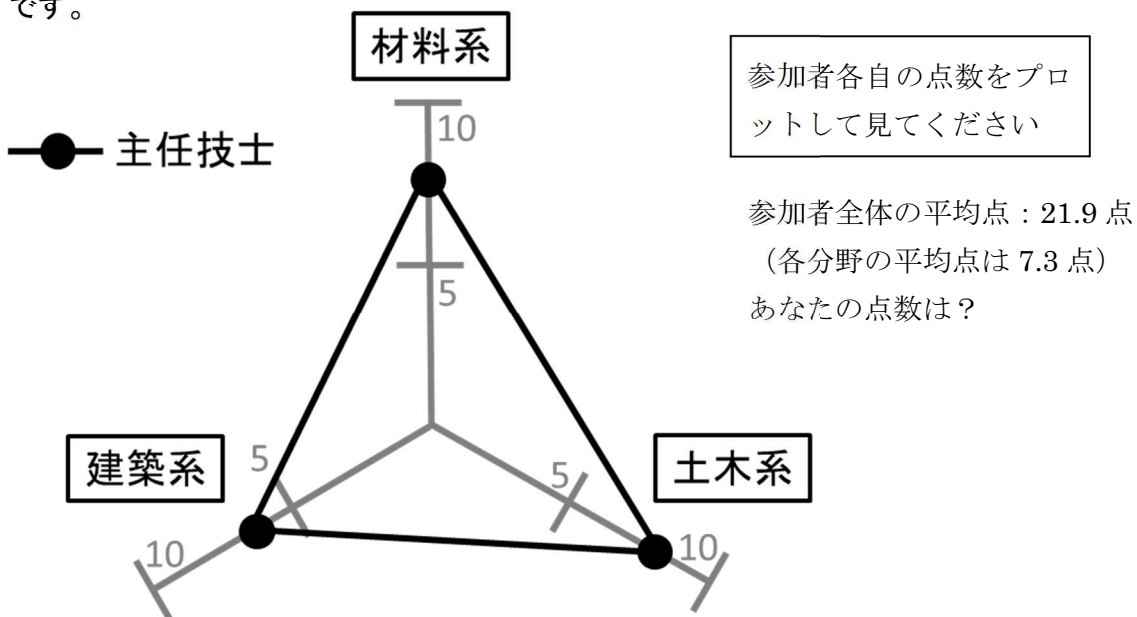


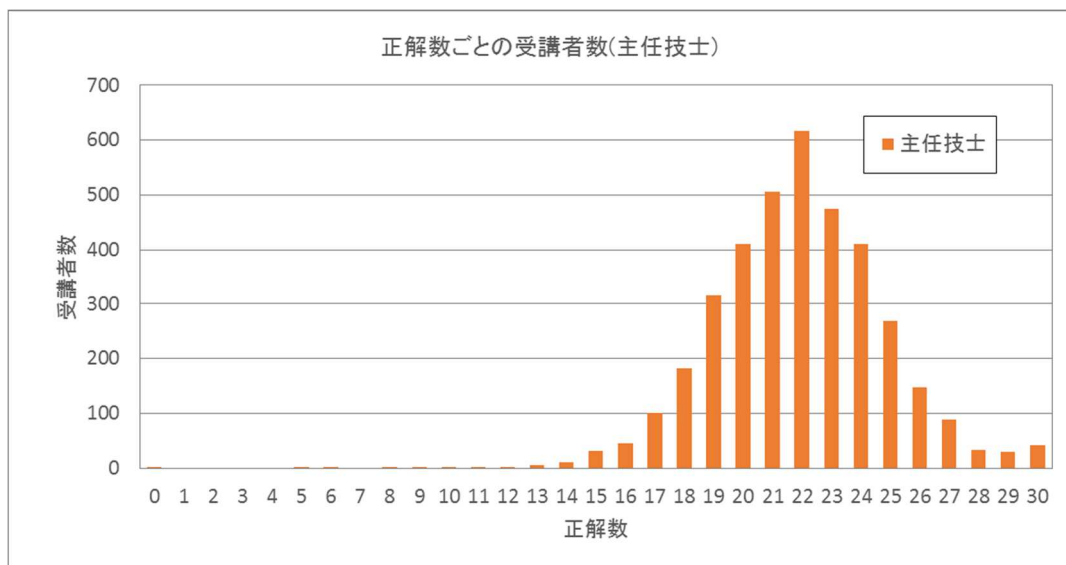


2016 年度 正解数ごとの受講者数(コンクリート技士)

(2)コンクリート主任技士

受講者全体(3741名)での平均点は21.9点(30点満点)、標準偏差は2.90で、コンクリート技士よりも平均点は2.4点上回りました。また、出題された問題群を、(1)材料系(研修時のテスト問題1~10)、(2)建築系(テスト問題11~20)、(3)土木系(テスト問題21~30)の3分野に分類すると、各分野の平均点(10点満点)は、それぞれ7.5点、6.3点、8.0点でした。職種により得手不得手はあると考えられますが、研修に参加された方々には、各分野の得点(正解数)を下のチャートにプロットし、ご自身の現在のレベルを把握して頂き、更なる知識の習得を目指すための参考にして頂ければ幸いです。





2016 年度 正解数ごとの受講者数(コンクリート主任技士)

年度別の正解数の平均一覧

年度	問題種類	出題数	対象	正解数の平均 (得点率)	標準偏差	正解数の平均		
						材料・物性	配合・製造・耐久性	施工・構造・製品
2010	4	45	技士	30 (67%)	4.0	10.5	9.7	10.0
2011	1			31 (69%)	4.1	10.7	10.0	10.0
2012	1			27 (60%)	3.9	8.3	10.1	8.7
2013	1			27 (60%)	4.0	9.8	8.9	8.9
						材料系	建築系	土木系
2014	1	30	技士	18.5 (62%)	3.0	6.6	6.4	5.5
2015	1			18.9 (63%)	2.9	6.2	6.5	6.1
2016	1		技士	19.5 (65%)	2.9	6.6	5.5	7.3
			主任	21.9 (73%)	2.9	7.5	6.3	8.0

【参考】

